

アートで文化遺産を編みひらく



五十嵐靖晃 / IGARASHI Yasuaki "Sora-Ami"

そらあみ

瀬戸内海歴史民俗資料館
Seto Inland Sea Folk History Museum

2023. 7.22[⊕] - 9.3[⊕] / 制作期間
10.14[⊕] - 11.26[⊕] / 展示

開館時間 / 9:00-17:00 (入館は16:30まで) 入館無料
休館日 / 月曜日 (月曜日が休日の場合は翌火曜日)
主催: 瀬戸内海歴史民俗資料館 協力: 香川大学創造工学部、五色台ビジターセンター
特別協力: 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」



瀬戸内海歴史民俗資料館開館50周年記念事業
れきみんで瀬戸内海を学ぶ

瀬戸内海歴史民俗資料館開館50周年記念事業 れきみで瀬戸内海を学ぶ

そらあみ -瀬戸内海歴史民俗資料館- アートで文化遺産を編みひらく

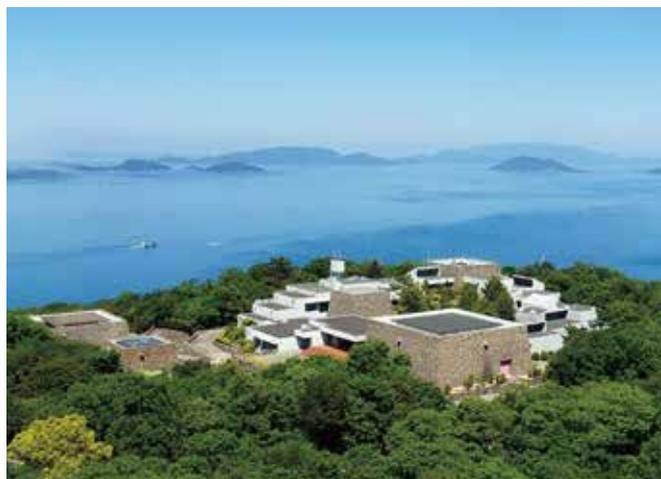
瀬戸内海歴史民俗資料館は昭和48年(1973)に開館し、今年で50周年を迎えます。これを記念して、アーティストの五十嵐靖晃さんと協力して取り組むアートプロジェクトを行います。

瀬戸内海で使われている漁網を広げると、それぞれの大きさや形、網目の大きさなどは実に変化に富んでいます。その一つ一つが海底地形や潮流、魚の習性などをふまえて作られたもので、網はまさに海の自然と人々の知恵が生み出した瀬戸内文化の象徴と言えます。

このプロジェクトでは、網をテーマとして海と人の関わりに目を向け、展示室で《そらあみ》を編むことで、「編む」という所作からはじまる民俗資料の新たな鑑賞体験を試みます。五十嵐さんと一緒に《そらあみ》を編むワークショップを行うほか、来館者が自由に網を編んで制作に参加し、秋には完成した《そらあみ》を展示室に掲げます。50年の間に各地から集まってきた大切な文化遺産の数々。その上で編み広げていく網の目を通して、どんな風景が見えてくるでしょうか。瀬戸内の人々の文化や暮らしを伝えるモノたちに遺された物語を、《そらあみ》が編みひろきます。

《そらあみ》とは

参加者と共に漁網を編み、空に掲げることで、人と人、海や島の記憶をつなぎ、網の目を通じて土地の風景をとらえ直すアートプロジェクト。空に立ち上げた《そらあみ》は、見慣れた風景の中に潜む記憶を浮き上がらせ、その土地に息づく見えない姿を気づかせてくれます。また、漁網の編み方は世界共通のため国内外各地に展開し、海のつながりを編み広げていっています。今回は「編む」ことを通じて民俗資料の新しい鑑賞体験を試みる、《そらあみ》の更なる可能性を探る機会となります。



備讃瀬戸の海を望む瀬戸内海歴史民俗資料館



そらあみの展示風景(2019年)



photo / Manami Takahashi

五十嵐 靖晃 IGARASHI Yasuaki アーティスト

【プロフィール】

1978年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは自然と人間の関わり方の術であり、この時代、多様な人々をつなげるものとしてあると考える。2005年にヨットで日本からミクロネシアまで約4000kmを航海した経験から「海からの視座」を活動の根底とする。

代表的なプロジェクトは、樟の柱を舞台に千年続くアートプロジェクトを目指す《くすかき》(福岡県/太宰府天満宮/2010~)、漁師らと共に漁網を空に向かって編み上げ土地の風景をつかまえる《そらあみ》(瀬戸内国際芸術祭2013・2016・2019)、南極にて子午線を糸に見立て世界各地の人と組んだ紐で共に風を揚げる《時を束ねる》(南極ビエンナーレ2017)、古くから伝わる民間信仰をアート作品として再構築し後世に受け継いでいくことを目指す《海渡り》(熊本県/つなぎ美術館/2021~)など。 <http://igayasu.com>



- ◎ JR高松駅から車で約25分・JR坂出駅から車で約30分
- ◎ 徳島方面から…高松自動車道 紙ICより車で約30分
- ◎ 岡山方面から…瀬戸中央自動車道 坂出北ICより車で約30分
- ◎ 愛媛・高知方面から…高松自動車道 坂出ICより車で約35分
- *いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
- ◎ 駐車場:普通車30台、大型バス可

瀬戸内海歴史民俗資料館

Seto Inland Sea Folk History Museum

〒761-8001高松市亀水町1412-2(五色台山上)

TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>



ワークショップ「歴民で《そらあみ》を編む」

館内見学や漁網についてのミニレクチャーを聴いた後、五十嵐靖晃さんと一緒に《そらあみ》を編みます。

日時/7月22日(土) 10:00-15:00
7月23日(日) 10:00-15:00 *各日同じ内容です。

講師/五十嵐靖晃(アーティスト)

場所/瀬戸内海歴史民俗資料館

対象/中学生以上(中学生は保護者同伴)

定員/各日15名(先着順、1組3名まで)

備考/午前から午後にかけての実施となりますので、各自で昼食を持参してください。

申込方法/電話または来館で申込み

申込期間/7月4日(火)から、定員になり次第終了

申込先/瀬戸内海歴史民俗資料館(TEL 087-881-4707)

参加
無料